

令和3年度地域福祉推進セミナー

コロナの正しい理解と

地域の活動

～これからの地域のつながりを考える～



令和3年

6月25日(金)

13:30~16:00

長野市若里市民文化ホール

(長野市若里3-22-2)

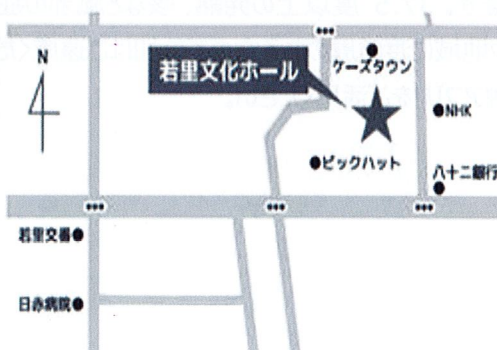
令和元年度から続いている新型コロナウイルスの影響を受け、医療・福祉現場はもとより最前線の地域福祉の現場にも混乱が起きました。

しかしながら、各地域では新型コロナウイルスに配慮をしつつ、つながりを維持できるよう活動をされている方々があります。

本セミナーでは、新型コロナウイルスを正しく理解したうえで地域の福祉活動を進められるよう、実践事例を交えてコロナ禍における地域福祉活動を模索します。

駐車場のお知らせ

若里文化ホール及びビッグハット周りの駐車場をご利用ください。



問い合わせ

社会福祉法人 長野市社会福祉協議会

担当/地域福祉課地域福祉担当

住所/長野市大字鶴賀緑町 1714-5

電話/026-227-3030 FAX/026-223-7388

- 定員 300名
- 参加費 無料
- 申込み チラシ裏面の申込用紙にてお申込みください
- 主催 社会福祉法人長野市社会福祉協議会
- 共催 長野市

スケジュール

第一部 基調講演

第一部では元諏訪中央病院医師で医療法人奥内科循環器科理事長、そして茅野市リバーサイドクリニックの非常勤医師をはじめ全国で活動されている奥知久先生をお招きし、新型コロナウイルス感染症に対する正しい理解とコロナ禍における地域福祉活動の必要性について講演いただきます。

講師：奥 知久（おくともひさ）氏

2010年より諏訪中央病院内科研修。同院総合診療科を経て、2015年より同院家庭医療プログラム（現・総合診療専門研修プログラム）責任者を務める。

2018年より総合診療科医長兼在宅・地域ケアセンター副センター長を務め、2019年3月退職。同年4月より、全国複数の医療機関に非常勤として勤める傍ら、長野県を始めとした地域でコミュニティサポートに注力する。

2018年から茅野市で「ほろよい座談会」という活動を開始。その地域の歴史や人口構成、祭りや地域の課題をテーマに住民同士が話し合える機会を作り、地域住民自らがより暮らしやすくするためのきっかけづくりにも取り組む。



第二部 パネルディスカッション

第一部に引き続き、コーディネーターに奥知久氏を迎え、地域の実践者の活動をもとに、コロナ禍においてもできる地域福祉活動の形を模索します。

＜パネルディスカッション登壇者＞

青木 敏氏（芹田地区社会福祉協議会 会長）、内山 咲子氏（芹田地区民生児童委員）、後藤つか沙氏（豊野地区地域福祉ワーカー）、北澤 咲子（長野市社会福祉協議会豊野地区地域たすけあいコーディネーター）、古畑真貴子氏（鬼無里地区地域福祉ワーカー）※一部調整中

申込書

参加者所属・(代表者)氏名 所属 _____ 氏名 _____

※個人での参加も可能です。

参加者(代表者) 連絡先※日中連絡が取れる番号 (_____) _____

参加希望人数※複数名いる場合 _____ 名

申込先：FAX 026-223-7388、TEL 026-227-3030

※申込締切：令和3年6月18日（金）必着

※当日は新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで実施いたします。37.5度以上の発熱、咳など風邪の症状のある方、体調のすぐれない方、2週間以内に感染が拡大している国や地域に渡航歴のある方のご参加はご遠慮ください。

※当日参加の際は、厚生労働省「COCOA-新型コロナウイルス接触アプリ」をご活用ください。



←Google Play



←App Store